

質問力を磨く(思考を広げる I)

科目ナンバリング FYE-106

【I】 選択 4単位

松本 美奈・霜島 駿太

1. 授業の概要(ねらい)

講座責任者は元読売新聞記者です。新聞を教材に質問する力を磨きます。アウトプットを重視する授業です。論文を書く・批判的に読む・発表する・議論する——を繰り返していきます。アウトプットは「自分にしか書けないことを、誰にでもわかりやすく」を重視しています。そのために日常課題にも取り組みます。「質問力を磨く(ClassQ)」では「多様な人々と協働できるリーダー」育成を目指しています。多様な背景の人々と力を合わせるリーダーだからこそ、「自分にしか書けないことを、誰にでもわかりやすく」伝える力が不可欠です。その力の根底にあるのが「質問力」。多様な人々とは、どのような文化や思考を持った人なのでしょうか。協働するとは、どういうことでしょうか。すべては質問から始まります。教材は読売新聞です。インターネットではなく、紙の新聞を購読してください。課題図書「日本社会のしくみ」(小熊英二著、講談社現代新書)を批判的に読み、中間論文を執筆してください。毎週1回、受講生には図書館の専門家と一緒に小説を推薦してもらいます。最終課題は個人課題とチームワークの二つあります。個人課題は表と論文です。あなたの一生分の収支を表にまとめ、実現するための課題を3,000字以内で論じてください。チームワークは、ポスター制作です。テーマは「給料は誰がどのように決めるべきか」。協力企業複数者へのインタビューを踏まえてください。新聞と本を通して世界を俯瞰し、他大学の学生とのチームワークやディスカッション、企業へのインタビューなど、多彩な経験を重ねて知的体力をつけましょう。

*0~4単位の授業です。水曜3限+火、水、木、金曜日の2コマを履修してください。

講師 水3 松本美奈(講座責任者)
水2 松本美奈
火、水、木、金 霜島駿太

*5月、6月いずれかの土曜日に、その道のプロを招いて語り合う「The Professionals」を開きます。プロが何を考え、どう働いているのか、語り合います。日程や内容は、初回授業時に発表します。

*6月1日(水)3限終了後(14時30分~17時)、ソラティオスクエア3階のアカデミックラウンジで、企業説明会を開催します。授業協力企業の経営者らが集まります。最終課題に向けて、ざつぱらんに話せるチャンスです。

2. 授業の到達目標

- (1)新聞を毎日読む(社会性)。
- (2)自分以外の誰かの立場で問う(俯瞰する)。
- (3)自分にしか書けないことを、誰にでもわかるように表現する(独創性、論旨明快、適切な言葉、推敲、読ませるタイトル)。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)日常課題(社説の視写、脳トレシート) 50%
最低基準:毎週各2回(計4回)×15週 基準を超えた履修者のみ評価対象とします。
2穴リングのファイルにとじて、提出してください。
これ以外での提出は受け付けません。
- (2)中間課題(論文) 20%
課題図書「日本社会のしくみ」にない論点を見つけなさい。
その際に、なぜその論点が重要なのか、別の文献を引用し、1500字程度で論じなさい。
*A4サイズの下書き用紙を使用。手書き、縦書きでない論文は受け付けません。
- (3)最終課題(論文) あなたの一生分の収支を計算し(Excel, Numbers)実現するための課題を3,000字以内で論じなさい。 30%
*A4サイズの下書き用紙を使用。手書き、縦書きでない論文は受け付けません。
*締め切り:(2)…5月25日(水)
(3)…7月13日(水)
(1)…7月20日(水)
いずれも、授業中に学生同士でピアレビューをします。課題を持参しないと、ピアレビューに参加できません。

4. 教科書・参考文献

教科書
読売新聞(朝夕刊)
読売新聞社
小熊英二 「日本社会の仕組み」
講談社現代新書

5. 準備学習の内容

- (1)読売新聞の朝夕刊を毎日読んでください。
…授業日だけ新聞を読んでも、理解は困難です。社会は日々刻々と動いているからです。
- (2)社説を書き写してください(社説の視写)。
…論調への迎合は求めていません。社説を書き写し、論の立て方を学びましょう。
- (3)気になった記事を読んで、コンセプトマップを広げ、質問を書き出してください(Cマップ)。
…自分以外の誰かの視点で、記事をもとにコンセプトマップを広げてみましょう。
その過程で浮かんできた疑問を言語化し、質問にします。
- (4)自分でテーマを決めて新聞記事をスクラップします。7月17日のポスターセッションでは、自分のブースを開き、披露してもらいます。
- (5)授業時間外にチームで調べ学習をし、発表資料を作ります。

6. その他履修上の注意事項

- ・企業関係者との議論、懇談会、インタビューを設けています。
- ・シラバス
- ・日常課題は最終的に2穴リングのファイルにまとめて提出します。返却された課題(社説、脳トレシート、リフレクションシート)は必ずファイリングしてください。
- ・毎週水曜3限は履修生と図書館のスタッフが小説を紹介します。100字書評を書いてください。「読む・書く」力を伸ばしたい学生におすすめです。

7. 授業内容

- 【第1回】 新聞で遊ぶ
・当日の読売新聞朝刊を必ず持参してください。
・ハサミ、ノリ、POSCAなど太めのサインペン(複数色があると楽しいです)をお持ちください。
*まわしよみ新聞で、新聞の構成を知る。
- ・=インプット *＝アウトプット 以下同じ
- 【第2回】 なぜ質問力か、なぜ新聞か(4月20日)
・なぜ質問力が必要なのか
・なぜ新聞なのか
・1行読書100字書評
・なぜ紙なのか
おまけ:新聞を速く読む方法
*なぜ手書きなのか Q&Bsと一緒に社説と脳トレシートを書く。
- 【第3回】 論理的に考える
・接続詞と三角形の思考で論理を組み立てる
*みんなで脳トレ
- 【第4回】 手で書くのと何がつかめるか(4月27日)
・最優秀ポスターを教材に、学生と企業人が語り合う
*質疑応答
- 【第5回】 脳トレは難しい? それとも簡単?
*みんなで脳トレ 再度チャレンジ
おさらい:新聞を速く読む
- 【第6回】 論文を書くための準備体操(5月11日)
*ピアレビュー(日常の課題を発表する)
・1行読書100字書評
・論文ってどうやって書くの?
*観察して書く
- 【第7回】 質問をつくる①
・脳トレから新聞でQへ
*脳トレ10分→チームワーク
- 【第8回】 質問をつくる②(5月18日)
*ピアレビュー
・1行読書100字書評
*脳トレから新聞でQへ
- 【第9回】 質問をつくる③
・新聞の読み方を確認しよう
*観察して書く(パーツに分解して読む→質問を出す。質問の変化に注目する)
- 【第10回】 中間ピアレビュー(5月25日)
・1行読書100字書評
*お互いの中間論文とポートフォリオを見る。
論文は論旨明快で独自性があるか。ポートフォリオの進捗状況はどうか。
- 【第11回】 質問を分類する①
・開いた質問と閉じた質問とは何か
*それぞれの長所と短所を考えよう
*新聞でQ
- 【第12回】 質問を転換する①(6月1日)
*ピアレビュー
・1行読書100字書評
*開いた質問と閉じた質問に分類する。
*開いた質問を閉じた質問に、閉じた質問を開いた質問に転換する。
- 【第13回】 質問を転換する②
*リエゾンタイム(前回課題の発表)
・転換することで何が起こるか。
*新聞でQ
- 【第14回】 思考命題は難しい? 簡単?(6月8日)
*ピアレビュー
・1行読書100字書評
*思考命題になぜ難しいか、簡単か。どんな思考命題を書いているか。
その思考命題は道標になっているか。
- 【第15回】 発表する、質問する
*リエゾンタイム
*新聞でQ
- 【第16回】 もう一度、脳トレ①(6月15日)
*ピアレビュー
・1行読書100字書評
*模造紙と情報カードで、自分の頭を可視化しよう
模造紙と情報カード、サインペン(黒か青)を持参してください。

- 【第17回】 ひとりでQ
*ひとりでQ
折り返し地点。これまでの力を確認してみよう。
*ピアレビュー
- 【第18回】 もう一度、脳トレ②(6月22日)
・ピアレビュー
・1行読書100字書評
*脳トレ品評会+相互コメント
- 【第19回】 質問を使う①
・質問は何に使えるか。
*チームワークは簡単な。
- 【第20回】 質問を使う② (6月29日)
・ピアレビュー
・1行読書100字書評
*観察して書く→チラシを作る
- 【第21回】 タイトルをつける
・内容を知りたいタイトルか。
・伝わる質問にするために。
*新聞でQ
- 【第22回】 なりきる ①(7月6日)
・ピアレビュー
・1行読書100字書評
*チラシを持参→配る。
- 【第23回】 質問を使う④ マラソンQ(7月9日、土曜日)10時～16時
・図書館で資料を探す
・多くを問う者は多くを得る
・終了後、チームでポスターを描く。
- 【第24回】 立ち止まって考える①
・誰の視点で、何を考えるべきか。判断軸を確定する。
*新聞でQ
- 【第25回】 最終論文のピアレビュー(7月13日)
・1行読書100字書評
*ピアレビュー
- 【第26回】 ポスターセッション(7月16日、土曜日)10時～13時、アカデミックラウンジ
・チームで制作したポスターの写真は、7月14日正午までにPDFにして送信してください。
- 【第27回】 論理的に思考する
・脳トレシートから新聞でQへ
- 【第28回】 ポートフォリオのピアレビュー(7月20日)
・1行読書100字書評
*ポートフォリオのピアレビュー
春学期の歩みをふりかえる
- 【第29回】 質問を使うために
*観察して書く
*質問を伝えるための秘訣をリストアップする
- 【第30回】 成長を言語化する (7月27日)
*ひとりでQ
*ピアレビュー